

12月22日、渡邊邸を会場に「平成の大修理」完了報告会が行われ、渡邊家及び工事関係者など約60人が出席しました。平成21年3月から始まった工事は、総工費が約8億円で、(公財)文化財建造物保存技術協会が設計管理者を務め、増田建設(株)が工事を施行。6年かけて、主屋や味噌蔵、米蔵、宝蔵、附塀を修理しました。

報告会では、渡邊家13代目当主で渡邊家保存会の渡邊孝弘理事長が「渡邊邸は国や県関川村、そして村民の皆さんなど、たくさんの方々に支えられ文化財の維持に努めてくることができた。貴重な文化財を後世に残すだけでなく、社会に還元していきたい」と式辞を述べました。また、祝辞では平田大六村長が「渡邊邸は観光の拠点であり、完成を機に村のさらなる発展を期待している」とあいさつ。その後、設計・管理・工事に携わった関係者に感謝状が贈呈されました。

渡邊邸のオープンは4月5日の予定で、4・5日の2日間、盛大にこけら落とし公演が開催される予定です。

## 平成の大修理が完了 国指定重要文化財渡邊邸で 完了報告会



▲式辞を述べる渡邊家保存会の渡邊孝弘理事長



## 関川産食材で勝負！ 第11回城下町しばた全国雑煮合戦

1月11日、新発田市カルチャーセンターを会場に、第11回城下町しばた全国雑煮合戦が開催され、村温泉旅館組合(小山雄司組合長・大内潤)、村商工会観光部・青年部、村観光協会が共同で出店しました。当日は、創作雑煮を求め、約2万3千人が来場。今回は、昨年同様、塩味ベースの出汁に地元産の朝日豚と山菜のしょうゆ漬けを組み合わせた雑煮で勝負しました。

自慢の雑煮はリピーターも多いほどの人気で、スタート直後からブース前には行列ができ、目標の350杯は正午過ぎに完売。

新発田市から家族で来場した池田セツさんは「出汁もおいしいし、肉もやわらかく食べごたえがあって本当にうまいと思った。孫は2杯食べていました」と笑顔がこぼれていました。

結果は、去年の6位を上回ることはできなかったものの、39店中19位と健闘しました。



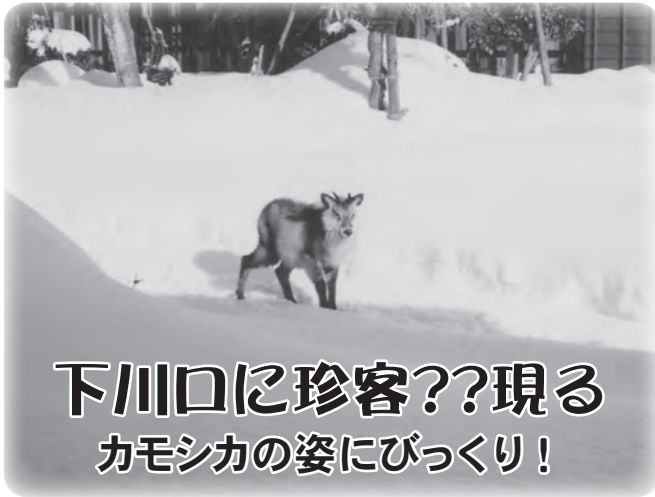
小池 正一郎さん  
(下関出身)

## 関川村ふるさと大使に任命

村の魅力を全国に発信し、イメージアップや活性化を図ることを目的に設置された関川村ふるさと大使に、このたび小池正一郎さん(鎌倉市在住・下関出身)が委嘱されました。

日本長期信用銀行(現・新生銀行)で、資本市場部長、長銀証券常務などの要職を歴任された小池さんは、マスコミやラジオなどで積極的に村の情報や魅力を発信。最近では、村の若者の勉強会のため人財のコーディネートや情報提供を行うなど、村の発展に大きく貢献されてきました。

小池さんは「生まれ育ったふるさとに少しでも役に立てばうれしく思います」と話していました。なお、関川村ふるさと大使としては3人目の委嘱ですが、村出身者としては初めての委嘱となります。



## 下川口に珍客??現る カモシカの姿にびっくり!

12月28日、下川口集落内にニホンカモシカが現れ、住民を驚かせました。現れたカモシカは一頭。写真を提供してくれた伊藤久雄さん(下川口)は「山にエサがなくなり、エサを求めて集落まで来たのでは。今まで民家のそばまでカモシカが来たことはない。まさか家の近所で見られるとは思ってもいなかった」と話していました。



## 食の大切さを学ぼう! 大島保育園で食育出前講座

子どもたちに食と健康の大切さを知ってもらい、地産地消などについて考えてもらおうと、村内の保育園や小・中学校で食育出前講座が行われました。これは、村の健康づくり計画、食育推進計画に基づく取り組みで、毎年行われているもの。

1月22日に大島保育園で行われた出前講座では、全園児を対象に、村の栄養士が給食に使われている地元の食材や給食の食べ方などをテーマにしたクイズを出題。園児は、スケッチブックに描かれたイラストなどを見て、元気よくクイズに答えていました。

大塚琉夏さん(大島)は「クイズがとても楽しかった。ポテトチップスにたくさんの油が使われていることが分かりました。好き嫌いがあるけどなくせるようにがんばりたい」と話していました。

## 女川保育園で 小正月行事「団子の木飾り」

1月16日、女川保育園で小正月行事の『団子の木飾り』が行われました。これは、昔から伝わる行事に親しんでもらおうと毎年行われているもので、園児のほかに、園児の祖父母もボランティアとして参加。当日は、祖父母と一緒に紅白の団子づくりを体験した後、ミズキの木に団子や前日に園児が焼いたせんべいのほか、その年の豊作を願って稲穂に似せたぬいごなどを飾りました。

小路悠和くん(深沢)は「団子づくりが上手にできました。団子や焼いたせんべいを木に飾るのが楽しかった。飾り終わったあと、木がとてもきれいでした」と笑顔を見せていました。



▲きれいに飾り付けられたミズキの木の前で記念撮影。おじいちゃんやおばあちゃんと一緒に園児も喜んでいました



再任  
人権擁護委員に  
石山キンさん

1月1日付けで、石山キンさん(下川口・TEL 64-1194)が人権擁護委員に再任されました。人権擁護委員は、法務大臣が委嘱する無報酬の非常勤特別職です。任期は3年で、人権を守るための活動を行うほか、住民皆さんからの人権相談にも応じます。

村の人権擁護委員は2人で、渡辺成一さん(上関・TEL 64-2063)も活動しています。※人権相談は人権擁護委員へ。新潟地方法務局村上支局(TEL 53-2390)でも随時受け付けています。